

千葉県石油コンビナート等防災本部本部員会議 議事概要

日 時：平成24年3月21日(水) 15:00～16:00

場 所：三井ガーデンホテル千葉 3階平安

出席者：別添会議資料 出席者名簿のとおり

1 あいさつ

防災本部の本部長である森田知事からあいさつがあった。

(あいさつ要旨)

本日は、御多忙の中、千葉県石油コンビナート等防災本部本部員会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては、日ごろから本県の防災対策の推進に御協力いただき、心から厚く御礼申し上げます。

さて、本県は全国第1位の石油コンビナートを擁しており、その防災対策は極めて重要なものと考えております。昨年3月に発生した東日本大震災では、液化石油ガスタンクの火災爆発により6名の方が負傷されたほか、地盤の液状化や長周期地震動の影響により危険物の漏えいなどが発生したところであり、今回の大震災を踏まえた対策をしっかりと講じていく必要があると考えております。

本日は、本県の「石油コンビナート等防災計画」や「災害時等における防災本部運営要領」の見直しについて御検討いただきます。

詳細については事務局から説明いたしますので、十分に御審議くださいますようお願い申し上げます。

2 議 事

本部長である知事を議長として議事を進めた。

(1) 報告事項

ア 千葉県石油コンビナート防災アセスメント検討部会の経過及び結果

資料1

部会長（岩館防災危機管理監）が千葉県石油コンビナート防災アセスメント検討部会の審議結果について報告した。

平成21年度から22年度には、県が実施した石油コンビナート防災アセスメント調査に関する内容検討と実施結果に対する考察を行った（調査結果の概要は資料2を参照）。平成23年度については、東日本大震災によるコンビナート事業所の被害状況や災害時の初動体制等を検証して防災計画の修正（案）をまとめて防災本部に報告された。（報告書は資料3を参照）

イ 千葉県石油コンビナート等防災本部幹事会の結果

幹事会（本年1月19日開催）の結果については、規定により幹事会会長（石井副防災危機管理監）が報告するところであるが、欠席のため安西消防課長が報告した。（資料なし）

幹事会では、本部員会議に提出するための議題として、石油コンビナート

等防災計画の見直し及び災害時の防災本部運営要領の見直しについて協議した。

石油コンビナート等防災計画の見直しでは、千葉市消防局から「特別防災区域協議会」に関して、「協議会への加入については、特定事業所以外の事業所についても加入を排除するものではなく、積極的に地域ぐるみの防災に取り組むことが望ましい。」との意見を受け、所定の見直しをさせていただいた。

その他の石油コンビナート等防災計画に関する意見及び災害時の防災本部運営要領の見直しに係る意見はなかった。

(2) 協議事項

ア 千葉県石油コンビナート等防災計画（平成23年度修正）案

資料4, 5, 6

防災本部事務局次長（安西消防課長）が資料4「千葉県石油コンビナート等防災計画（平成23年度修正）案の概要」に沿って、防災計画修正の基本方針、修正に関する意見募集の状況、主な修正項目（防災アセスメント調査結果を受けての修正：19項目 及び東日本大震災を踏まえての修正：26項目）について説明した。

質問・意見等はなく、案のとおり決定することとした。

イ 災害時等における千葉県石油コンビナート等防災本部防災本部運営要領の見直し 資料7

防災本部事務局次長（安西消防課長）が説明した。このたびの震災で防災本部が非常第2配備体制を敷いた際の経験と反省を踏まえて、各班の任務を明確にして機動的な災害対応が実施できるよう防災本部内の班編成等を見直そうとするもので、全体として要員数は67名から52名に減少する。

質問・意見等はなく、案のとおり決定することとした。

(3) その他

議事終了後、知事から本部員に広く意見を求めたところ、次の発言があった。

(市原市長)

市原市では石油コンビナートで製造している石油や化学製品等は毎年5兆7千億円もの製造出荷額を示している。それだけ危険物がたくさんあるわけだが、この度の東日本大震災のような巨大なエネルギーが東京湾に押し寄せたときには市原市ばかりでなく、かなり厳しい災害想定ができる。その時被災地の皆さまの思いを私たちは共有しなくてはいけないし、千葉県がきちっと指揮をとっていただき、市町村の様々な対応のコーディネートをさせていただかないといけない。いま、東京湾直下型や首都直下型の地震が研究者から発表され、県民に伝わってきている。県民に安心していただくためには、何といたっても情報発信の責任者として知事が安心できる体制を取っていただきたい。

(岩館防災危機管理監)

まさに市原市長がおっしゃったとおりで、防災に携わる我々（県庁全体）は、今回の震災を踏まえて新たに津波浸水予測図を作成するなど努力しているところですが、情報発信につきましても、県は市町村と連携して、市町村が防災対策を講ずる上で知恵を出し合いながら一生懸命やっていますので、これからもよろしくお願いします。

(森田知事)

市長がおっしゃったように今回の震災をしっかり把握し、学ばなければいけない。（本日千葉県を訪問された）末松復興副大臣に今回の交付金等については被災した現地をしっかり視察し、そしてお願いしますと申し上げた。というのは、東日本（東北地方）と違って我が千葉県は、液状化被害も津波被害もある、そういう点を見てくださいとお願いして、今回実現した。その中で交付金の拡大を約束していただいた。それと同時にお願いしたのが、例えば放射能でもそうだが、人体に影響がないなら国が「影響がない」とはっきり言っていただきたい。それから国が「こうするんだ」「こういうときに一致団結してみんなでやるんだ」と国民に訴えてほしい。そうでないと、ワイドショーやニュースでいろいろな人間がいろいろなことを言い、住民が協力しようと思っても不安になり、不安が錯綜の原因になる。

首長のみなさんや国と連携しながら、一生懸命努力させていただきます。

千葉県石油コンビナート等防災本部
事務局 043-223-2173